



古賀市記者懇談会（10 月期）

令和 7 年 10 月 28 日(火)13 時 30 分～

会場: 応接室A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

① 「こがパパママこども AI 相談室」実証実験について

【古賀市役所】(問い合わせは 子ども家庭センター 石丸＝092-942-1515)

古賀市では、つながり AI 株式会社と連携し、子育て世代の保護者や子どもたちを対象とした「こがパパママこども AI 相談室」の実証実験を開始します。

子育て中の保護者や子どもが LINE 上で気軽に利用できる AI「AI(あい)ちゃん」を通じて、日常のちょっとした悩みや深刻な相談を受け止め、必要に応じて専門職相談員、社会資源へとつなぐ仕組みづくりについて検証します。この実験により、AI が子育て家庭や子どもの不安や悩みを早期にキャッチし、適切な支援につなげる効果があることを期待しています。

②組織の壁を越え、市民サービス向上・イノベーション創出！

【古賀市役所】(問い合わせは 経営戦略課 嶋田・中田＝092-405-0111)

窓口受付時間短縮により生まれた時間を有効活用し、組織全体の生産性や政策形成力を高めるため、古賀市は新たに「クロスリンク」「組織内副業促進」「職員発・チャレンジ」の 3 つの制度を始動します。これは、部門や組織の枠を超えた連携を推進し、複雑・多様化する行政課題を総合的に解決することを目的とした、新しい働き方への挑戦です。

③初開催！古賀自動車学校×粕屋警察署×古賀市

外国籍労働者対象生活オリエンテーション「交通安全教室」

【古賀市役所】(問い合わせは まちづくり推進課 青柳・友定＝092-942-1165)

本市の外国人人口は令和 7 年 3 月末現在、1,322 人となっており、直近 3 年間では年間約 150 人から 200 人の間で増加している状況です。

日本での生活は、これまで外国籍市民の方が生活してきた環境とは異なるため、特に生活に必要なルールを学ぶ機会を提供し、丁寧に伝える必要があります。そこで、令和 4 年度より「外国籍市民の方が古賀市で安心して生活できること」を目的に、生活に密着する「ごみの捨て方」「防災」「交通安全」に関する「生活オリエンテーション」を実施してきました。

今回は外国籍労働者と雇用している企業対象に自転車の『安全走行コンテスト』を実施します。

④今年も開催！「つながる！多文化ミニ運動会」

【古賀市役所】(問い合わせは まちづくり推進課 青柳・友定＝092-942-1165)

この取組は、古賀市が外国籍市民向けに実施している交流型日本語教室のスタッフによるアイデアで始まりました。

「運動会」を通して、外国籍市民と一緒に日本の行事・文化に触れながら、楽しい時間を一緒に過ごすことで、お互いをより深く知るための交流の機会になることはもちろん、互いに協力しながら身体を動かすことで、コミュニケーションがより円滑になることも期待できます。

また、参加賞として、市内の特産品を準備する予定です。外国籍市民の皆さんに、市内の特産品を知ってもらおう機会にもなります。

【その他お知らせ】

①第2回「古賀市キッズダンスフェスティバル」開催

【古賀市観光協会】（問い合わせは 事務局長 中野＝092-940-2300）

11月2日(日)に第2回「古賀市キッズダンスフェスティバル」を開催します。来場者数3,300人と大好評だった第1回（今年3月9日開催）からさらにパワーアップし、ダンスチーム9チームが元気溢れるパフォーマンスを披露。また、同時開催の古賀市うまいもの市では飲食や子ども向けの出店など会場内には約37のブースが出店します。

②第3回熊野神社 昇り駆け上がり大会開催 参加者募集

【古賀市観光協会】（問い合わせは 事務局長 中野＝092-940-2300）

県内5位の神社石段を有する「熊野神社」。その石段243段を駆け上がる大会「熊野神社駆け上がり大会」を開催します。令和6年3月に30人から始まった本大会は回を増すごとに参加者が増えており、今年は60人を目標に参加者を募集します！

■全体の問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 澤木・井手＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・11月21日（金）14時00分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・12月19日（金）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A